



【考えましょう3】
その後の儀兵衛
のとった行動につ
いて感想を書きま
しょう。

内閣府作成の紙芝居
「津波だ！いなむらの火をげすな」より引用

【あらすじ3】

地震のあと、儀兵衛はとなり村から蓄え米を借りて握り飯をつくりみんなに配りました。

村人は、津波が心配なので「よその村へ移りたい」と言いました。浜口家は銚子でしようゆ作りをしており、それを元手に堤防造りにとりかかりました。

その堤防は、92年後の昭和南海地震でも人々を守りました。

3 津波にはどう備えればよいでしょうか。

(1) 津波基礎知識

1 津波の伝わる速さ

水深1.0mで、時速3.6km。
(100mを10秒で走る速さと同じ)

2 津波の高さ

水深の深いところでは低く、浅いところでは高くなります。

→沖合いで津波が発生しても陸地からはほとんどわかりません。目の前に迫ってからは逃げ遅れてしまいます。

3 津波が襲ってくる回数

津波は1回しか来ないとは限りません。2回3回と来ることもあります。さらに、1回目が一番大きいとも限りません。

しばらく様子をみてください。指示がある場合はその指示に従ってください。



(2) 津波予報の種類

予報の種類		解説	発表される津波の高さ
津波警報	大津波	高いところで3m程度以上の津波が予想されますので、厳重に警戒してください。	10m 以上 8m 6m 4m 3m
	津波	高いところで2m程度の津波が予想されますので 警戒してください。	2m 1m
津波注意報	津波注意	高いところで0.5m程度の津波が予想されますので、注意してください。	0.5m

(3) 釜石市に学ぶ ～避難三原則～

東日本大震災で、校舎3階まで津波が押し寄せたにもかかわらず、学校にいた児童生徒は全員生きて避難した地域があります。岩手県釜石市です。釜石市では、津波に備え、「避難三原則」を学び、避難訓練や、救命救急法、消火訓練などに取り組んできました。

〔岩手県釜石市 津波防災教育の手引き〕
http://www.ce.gunma-u.ac.jp/kamaishi_tool/index.html

【調べてみよう】

1 「避難三原則」

- 想定にとられるな
- 最善を尽くせ
- 率先避難者たれ

2 自分の住むまちや学校・避難場所の海拔を調べてみよう

〔Google Maps 標高〕
http://wisteriahill.sakura.ne.jp/GMAP/GMAP_ALTITUDE/index.php